

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		交通安全施設整備事業費 [道路反射鏡と交差点鈺の新設事業]						
予算科目	款 8	土木費	項 2	道路橋りょう費	目 2	道路新設改良費	事業番号 3	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	土木		課 交通安全対策		係	課長名	寺島 由紀夫	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 4	
【施策名】 道路・交通の整備						総合計画書(ページ)	89	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・道路反射鏡 ・交差点鈺			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ・道路反射鏡の新たに必要箇所数 ・交差点鈺の新たに必要箇所数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 道路反射鏡や交差点鈺を設置し、安全で快適な道路交通を確保する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ・道路反射鏡の新設数 ・交差点鈺の新設数				
	③ そのために何をしましたか。 市民等からの要望等により、交通安全上必要である場所に道路反射鏡及び交差点鈺を設置した。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ・道路反射鏡の新設(6基) 一面鏡 ・交差点鈺の新設(1基)				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
	対象指標	①の数値	—	—	—	—		
	成果指標	②の数値	基	道路反射鏡 5基 交差点鈺 1基	道路反射鏡 5基 交差点鈺 1基	道路反射鏡 6基 交差点鈺 1基		
目 標		②の目標値	目標値設定の考え方					
活動指標		③の数値	基	道路反射鏡 5基 交差点鈺 1基	道路反射鏡 5基 交差点鈺 1基	道路反射鏡 6基 交差点鈺 1基		
3 経費	事業費(実績)		円	834,300	916,920	919,360	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	834,300	916,920	919,360		
		特定財源	円	0	0	0		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	24.0	24.0	32.0		
		所要人数(再任用)	時間	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	100,800	100,800	137,600		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	935,100	1,017,720	1,056,960			
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度					
	(2) 環境の変化		東大和市交通安全計画(平成28年度~平成32年度)のⅡ分野別施策、第1章 「道路交通環境の整備」 3交通安全施設等の整備に基づき、安全で快適な道路交通環境の整備に努めている。					

事業名称	交通安全施設整備事業費 [道路反射鏡と交差点鉤の新設事業]			
担当部署・課長名	土木	課	交通安全対策	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	市民からの道路反射鏡と交差点鉤の新規設置の要望が寄せられた。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：市報・チラシ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路反射鏡の設置要望については、必要の有無をしっかりと見極める必要がある。</li> <li>交差点鉤の電池切れ箇所が多く発生していたため、順次バッテリー交換する必要があった。</li> </ul>	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路反射鏡の設置要望については、現地確認を行い必要の有無を判断した。</li> <li>別事業(交通安全施設維持管理事業)で、交差点鉤のバッテリーを交換した。</li> </ul>	
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>予算が少ないため、道路反射鏡や交差点鉤の設置は、真に必要な箇所のみ優先順位を決めて設置していく必要がある。</li> </ul>		
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	
施策名：道路・交通の整備		
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	【取組内容】 市民等からの要望等により、交通安全上必要である場所に予算の範囲内で道路反射鏡及び交差点鉤の設置を行う。	
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
現地確認により、設置が必要か否かを適切に判断していく。		